

# ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2019年4月18日)

(作成対象期間 2018年10月19日～2019年4月18日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間(2017年10月19日～2022年10月18日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>  
<2751>

為替ヘッジあり

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2018年 4 月18日)	10,639	100	7.4	10,567	5.7	93.0	—	3.9	6,622
2 期末 (2018年10月18日)	10,695	0	0.5	10,968	3.8	89.8	—	4.0	6,526
3 期末 (2019年 4 月18日)	11,396	200	8.4	11,324	3.2	88.6	—	4.1	5,584

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

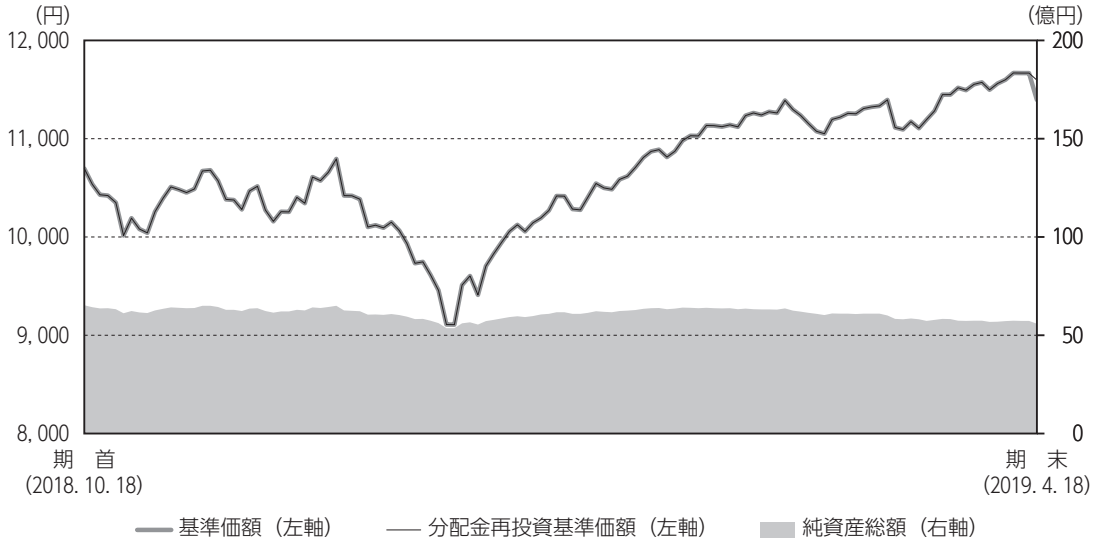
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,695円

期末：11,396円（分配金200円）

騰落率：8.4%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国の中型株式等に投資した結果、保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2018年10月18日	円	%		%	%	%	%
	10,695	—	10,968	—	89.8	—	4.0
10月末	10,258	△ 4.1	10,474	△ 4.5	89.7	—	4.2
11月末	10,573	△ 1.1	10,689	△ 2.5	91.2	—	4.3
12月末	9,604	△ 10.2	9,717	△ 11.4	90.3	—	4.4
2019年1月末	10,586	△ 1.0	10,468	△ 4.6	93.3	—	4.3
2月末	11,274	5.4	10,902	△ 0.6	90.6	—	4.1
3月末	11,194	4.7	10,992	0.2	92.9	—	4.5
(期末)2019年4月18日	11,596	8.4	11,324	3.2	88.6	—	4.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

（2018. 10. 19 ～ 2019. 4. 18）

**米国中型株式市況**

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、米中貿易摩擦の長期化や米国経済の減速懸念などを背景に、当作成期首から2018年11月にかけてもみ合いの展開で始まりしました。その後、12月は景気後退への警戒感が強まる中、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを実施し市場の想定よりも強気な姿勢が嫌気され、米国中型株式市場は下落しました。しかし、2019年1月にパウエルF R B議長が柔軟な金融政策を行う姿勢を示すと、相場は回復に転じました。当作成期末にかけては、米国政府機関の閉鎖や中国に対する制裁関税への懸念から短期的に調整したものの、底堅い米国経済や米中通商協議の進展への期待を背景に、米国中型株式市場は堅調に推移しました。

**前作成期末における「今後の運用方針」****当ファンド**

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

**ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド**

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済および米国の企業業績の見通しは良好と考えていますが、その一方で、米国中型株式市場の割高感が強まりつつある点を慎重にみています。運用戦略では、相場が反転した場合に備えて慎重な運用を行っていく方針です。引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視しています。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

## ポートフォリオについて

（2018. 10. 19 ～ 2019. 4. 18）

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のために、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

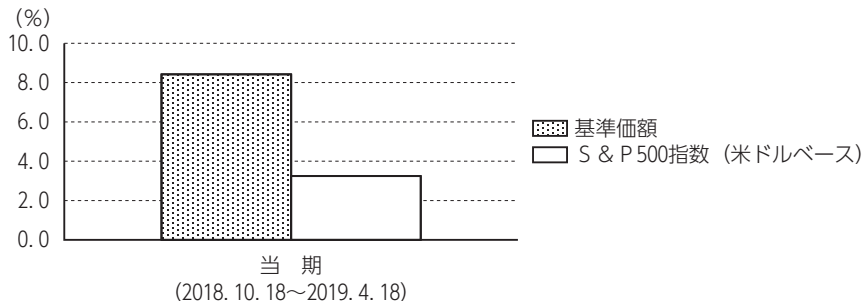
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、エネルギー・セクターの比率が低下しました。また、公益事業や生活必需品セクターの銘柄については投資機会が限定的とみて、投資を手控えました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年10月19日 ～2019年4月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>200</b>
対基準価額比率	（％）	1.72
当期の収益	（円）	200
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,395

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	44.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	747.77
(c) 収益調整金		450.82
(d) 分配準備積立金		353.06
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		1,595.94
(f) 分配金		200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		1,395.94

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のために、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストーリーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 10. 19～2019. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	94円	0.878%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,655円です。
(投 信 会 社)	(49)	(0.458)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	96	0.900	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数 千口	金 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	343,233	360,000	1,614,877	1,874,000

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	13,230,168千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	25,168,499千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首 □ 数 千口	□ 数 千口	評 価 額 千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,741,707	4,470,063	5,514,717

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,514,717	94.9
コール・ローン等、その他	296,072	5.1
投資信託財産総額	5,810,789	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.04円です。

(注3) ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(22,944,443千円)の投資信託財産総額(23,172,510千円)に対する比率は、99.0%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>11,239,573,062円</b>
コール・ローン等	256,072,315
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	5,514,717,247
未収入金	5,468,783,500
<b>(B) 負債</b>	<b>5,655,459,387</b>
未払金	5,477,666,300
未払収益分配金	98,001,774
未払解約金	26,097,091
未払信託報酬	53,528,803
その他未払費用	165,419
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>5,584,113,675</b>
元本	4,900,088,716
次期繰越損益金	684,024,959
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,900,088,716口</b>
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>11,396円</b>

\* 期首における元本額は6,101,968,442円、当作成期間中における追加設定元本額は157,913,027円、同解約元本額は1,359,792,753円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,396円です。

■損益の状況

当期 自 2018年10月19日 至 2019年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,149円
受取利息	3,907
支払利息	△ 26,056
(B) 有価証券売買損益	494,606,827
売買益	924,417,788
売買損	△ 429,810,961
(C) 信託報酬等	△ 53,706,124
(D) 当期損益金 (A + B + C)	440,878,554
(E) 前期繰越損益金	120,242,347
(F) 追加信託差損益金	220,905,832
(配当等相当額)	( 113,663,523)
(売買損益相当額)	( 107,242,309)
(G) 合計 (D + E + F)	782,026,733
(H) 収益分配金	△ 98,001,774
次期繰越損益金 (G + H)	684,024,959
追加信託差損益金	220,905,832
(配当等相当額)	( 113,663,523)
(売買損益相当額)	( 107,242,309)
分配準備積立金	463,119,127

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：15,030,917円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,698,729円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	366,418,017
(c) 収益調整金	220,905,832
(d) 分配準備積立金	173,004,155
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	782,026,733
(f) 分配金	98,001,774
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	684,024,959
(h) 受益権総口数	4,900,088,716口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金</b>	<b>200円</b>

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2018年 4 月18日)	10,296	0	3.0	10,025	0.3	93.2	—	3.9	45,558
2 期末 (2018年10月18日)	10,800	150	6.4	10,940	9.1	90.0	—	4.0	24,112
3 期末 (2019年 4 月18日)	11,560	250	9.4	11,229	2.6	88.7	—	4.1	17,712

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（円換算）は、S & P 500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

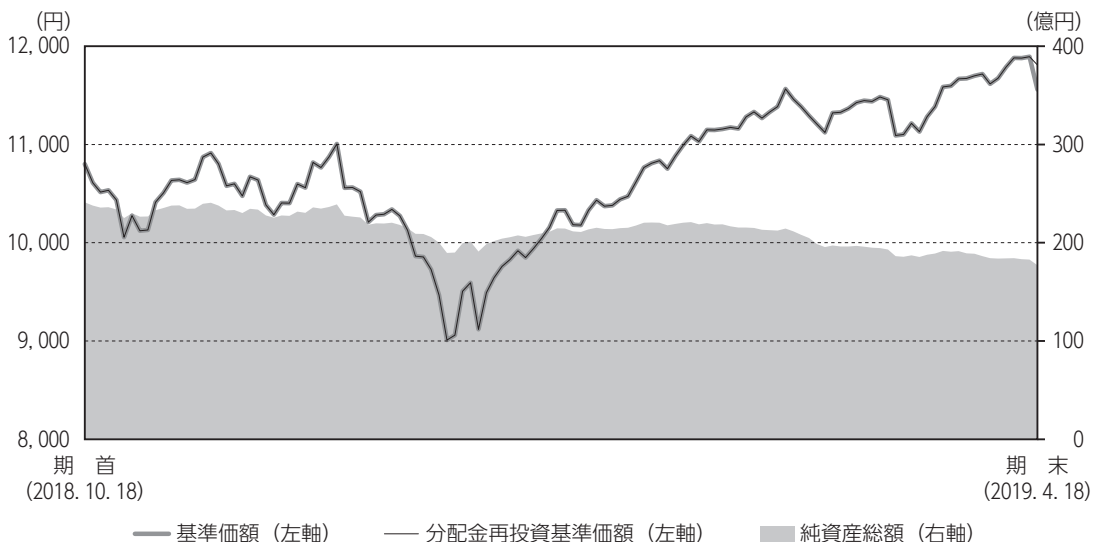
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,800円

期末：11,560円（分配金250円）

騰落率：9.4%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国の中型株式等に投資した結果、米ドルは対円で横ばいとなったものの、保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2018年10月18日	10,800	—	10,940	—	90.0	—	4.0
10月末	10,414	△ 3.6	10,499	△ 4.0	89.1	—	4.2
11月末	10,765	△ 0.3	10,735	△ 1.9	91.7	—	4.3
12月末	9,592	△ 11.2	9,546	△ 12.7	92.3	—	4.5
2019年 1 月末	10,441	△ 3.3	10,094	△ 7.7	93.5	—	4.4
2 月末	11,330	4.9	10,698	△ 2.2	90.9	—	4.1
3 月末	11,282	4.5	10,798	△ 1.3	92.5	—	4.5
(期末) 2019年 4 月18日	11,810	9.4	11,229	2.6	88.7	—	4.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2018. 10. 19 ～ 2019. 4. 18）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、米中貿易摩擦の長期化や米国経済の減速懸念などを背景に、当作成期首から2018年11月にかけてもみ合いの展開で始まりました。その後、12月は景気後退への警戒感が強まる中、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを実施し市場の想定よりも強気な姿勢が嫌気され、米国中型株式市場は下落しました。しかし、2019年1月にパウエルF R B議長が柔軟な金融政策を行う姿勢を示すと、相場は回復に転じました。当作成期末にかけては、米国政府機関の閉鎖や中国に対する制裁関税への懸念から短期的に調整したものの、底堅い米国経済や米中通商協議の進展への期待を背景に、米国中型株式市場は堅調に推移しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で横ばいとなりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より方向感のない推移が続いていましたが、2018年12月末にかけて世界の株式市場が大きく下落する中、安全通貨とされる円に対する買いが強まり、2019年初めにかけて、一時大幅に下落しました。しかしその後は、投資家心理の改善とともに反発基調となりました。当作成期末にかけては、米国株式市場の堅調な推移などを受けたリスク選好姿勢の強まりがサポート材料となり、米ドル円は底堅い推移が続きました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済および米国の企業業績の見通しは良好と考えていますが、その一方で、米国中型株式市場の割高感が強まりつつある点を慎重にみています。運用戦略では、相場が反転した場合に備えて慎重な運用を行っていく方針です。引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視しています。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

## ポートフォリオについて

(2018. 10. 19 ~ 2019. 4. 18)

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

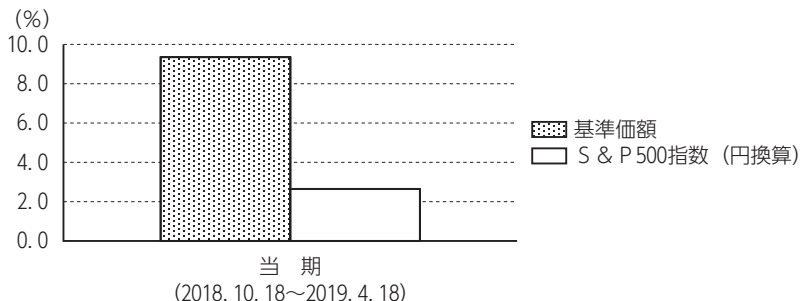
### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、エネルギー・セクターの比率が低下しました。また、公益事業や生活必需品セクターの銘柄については投資機会が限定的とみて、投資を手控えました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2018年10月19日 ～2019年4月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>250</b>
対基準価額比率	(%)	2.12
当期の収益	(円)	250
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,560

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	44.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	962.76
(c) 収益調整金		211.79
(d) 分配準備積立金		590.82
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		1,810.12
(f) 分配金		250.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		1,560.12

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストーリーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 10. 19～2019. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	94円	0. 878%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 720円です。
(投 信 会 社)	(49)	(0. 458)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0. 404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 006)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	96	0. 899	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	190,675	200,000	7,242,021	8,385,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	13,230,168千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	25,168,499千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	21,253,197	14,201,851	17,520,824	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	17,520,824	95.1
コール・ローン等、その他	897,912	4.9
投資信託財産総額	18,418,737	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.04円です。

(注3) ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(22,944,443千円)の投資信託財産総額(23,172,510千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,418,737,109円
コール・ローン等	827,912,508
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	17,520,824,601
未収入金	70,000,000
(B) 負債	705,881,428
未払収益分配金	383,059,305
未払解約金	135,545,364
未払信託報酬	186,699,679
その他未払費用	577,080
(C) 純資産総額(A-B)	17,712,855,681
元本	15,322,372,214
次期繰越損益金	2,390,483,467
(D) 受益権総口数	15,322,372,214口
1万口当り基準価額(C/D)	11,560円

\* 期首における元本額は22,326,717,448円、当作成期間中における追加設定元本額は698,571,199円、同解約元本額は7,702,916,433円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,560円です。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

## ■損益の状況

当期 自 2018年10月19日 至 2019年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 47,484円
受取利息	12,647
支払利息	△ 60,131
(B) 有価証券売買損益	1,731,098,619
売買益	2,098,999,385
売買損	△ 367,900,766
(C) 信託報酬等	△ 187,300,109
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,543,751,026
(E) 前期繰越損益金	905,277,990
(F) 追加信託差損益金	324,513,756
(配当等相当額)	( 77,858,612)
(売買損益相当額)	( 246,655,144)
(G) 合計 (D + E + F)	2,773,542,772
(H) 収益分配金	△ 383,059,305
次期繰越損益金 (G + H)	2,390,483,467
追加信託差損益金	324,513,756
(配当等相当額)	( 77,858,612)
(売買損益相当額)	( 246,655,144)
分配準備積立金	2,065,969,711

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：52,690,717円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	68,563,664円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,475,187,362
(c) 収益調整金	324,513,756
(d) 分配準備積立金	905,277,990
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,773,542,772
(f) 分配金	383,059,305
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,390,483,467
(h) 受益権総口数	15,322,372,214口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金</b>	<b>250円</b>

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## 運用報告書 第3期（決算日 2019年4月18日）

（作成対象期間 2018年10月19日～2019年4月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

## 大和投資信託

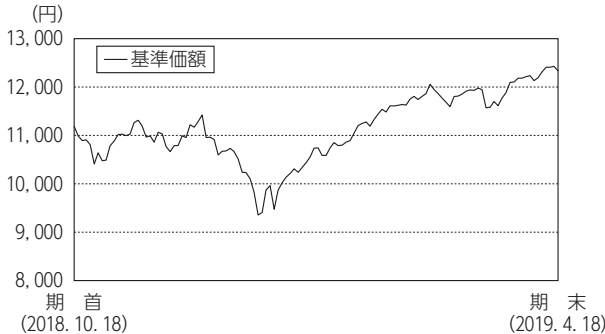
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株 式	株 式	投資信託
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	組入比率	先物比率	証券組入比率
(期首) 2018年10月18日	11,189	—	10,940	—	91.2	—	4.1
10月末	10,786	△ 3.6	10,499	△ 4.0	89.8	—	4.3
11月末	11,169	△ 0.2	10,735	△ 1.9	91.9	—	4.3
12月末	9,962	△ 11.0	9,546	△ 12.7	92.5	—	4.5
2019年1月末	10,861	△ 2.9	10,094	△ 7.7	93.8	—	4.4
2月末	11,806	5.5	10,698	△ 2.2	91.3	—	4.1
3月末	11,773	5.2	10,798	△ 1.3	93.0	—	4.5
(期末) 2019年4月18日	12,337	10.3	11,229	2.6	89.7	—	4.2

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,189円 期末：12,337円 騰落率：10.3%

【基準価額の主な変動要因】

米国の中型株式等に投資した結果、米ドルは対円が横ばいとなったものの、保有株式の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、米中貿易摩擦の長期化や米国経済の減速懸念などを背景に、当作成期首から2018年11月にかけてもみ合いの展開で始まりまし。その後、12月は景気後退への警戒感が強まる中、F R B (米国連邦準備制度理事会) が利上げを実施し市場の想定よりも強気な姿勢が嫌気され、米国中型株式市場は下落しました。しかし、2019年1月にパウエルF R B議長が柔軟な金融政策を行う姿勢を示すと、相場は回復に転じました。当作成期末にかけては、米国政府機関の閉鎖や中国に対する制裁関税への懸念から短期的に調整したものの、底堅い米国経済や米中通商協議の進展への期待を背景に、米国中型株式市場は堅調に推移しました。

○為替相場

米ドルは対円が横ばいとなりました。

米ドル円が為替相場は、当作成期首より方向感のない推移が続いていましたが、2018年12月末にかけて世界の株式市場が大きく下落する中、安全通貨とされる円に対する買いが強まり、2019年初めにかけて、一時大幅に下落しました。しかしその後は、投資家心理の改善とともに反発基調となりました。当作成期末にかけては、米国株式市場の堅調な推移などを受けたリスク選好姿勢の強まりがサポート材料となり、米ドル円は底堅い推移が続きまし。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済および米国の企業業績の見通しは良好と考えていますが、その一方で、米国中型株式市場の割高感が強まりつつある点を慎重にみています。運用戦略では、相場が反転した場合に備えて慎重な運用を行っていく方針です。引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、パリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視しています。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。引き続き、技術革新に伴う急速なビジネスモデルの変化への適応力の観点から有望な投資機会があると考えられる銘柄への投資を継続しました。その結果、セクター別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが高位の組み入れとなりました。一方、相対的に魅力度が低いとみた銘柄の売却を進めた結果、エネルギー・セクターの比率が低下しました。また、公益事業や生活必需品セクターの銘柄については投資機会が限定的とみて、投資を手控えました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

2018年年末の株安後に割高感が後退した場面で、長期的な成長ストー

## ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

リーが期待できる銘柄や、安定したビジネスモデルを有する銘柄を購入しました。しかし、2019年に入って米国中型株式市場が急回復し、再びバリュエーションが上昇している点を慎重にみており、引き続き、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い資本投下利利率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	1円 ( 1) ( 0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 ( 0) ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 ( 1) ( 0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■主要な売買銘柄

#### (1)株 式

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
CATALENT INC (アメリカ)	58.304	237,826	4,079	XILINX INC (アメリカ)	50.64	568,360	11,223
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC (アメリカ)	20.007	220,081	11,000	VERISK ANALYTICS INC (アメリカ)	34.23	479,625	14,011
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS (アメリカ)	39.192	208,681	5,324	IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	19.128	270,785	14,156
WABTEC CORP (アメリカ)	22.582	182,358	8,075	SMITH (A.O.) CORP (アメリカ)	44.396	254,677	5,736
CBOE GLOBAL MARKETS INC (アメリカ)	16.732	173,201	10,351	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	59.322	251,037	4,231
NICE LTD - SPON ADR (イスラエル)	13.876	158,068	11,391	TD AMERITRADE HOLDING CORP (アメリカ)	38.577	234,071	6,067
HARRIS CORP (アメリカ)	8.028	128,287	15,979	AON PLC (イギリス)	12.308	231,362	18,797
SAREPTA THERAPEUTICS INC (アメリカ)	7.895	118,761	15,042	MICROCHIP TECHNOLOGY INC (アメリカ)	23.751	231,188	9,733
GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	15.62	115,547	7,397	WATERS CORP (アメリカ)	8.684	230,966	26,596
CIMPRESS NV (オランダ)	6.28	79,602	12,675	VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC (アメリカ)	15.619	219,713	14,067

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■売買および取引の状況

#### (1)株 式

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,781.85 ( 65.72)	千アメリカ・ドル 19,261 (△ 1,800)	百株 13,947.84	千アメリカ・ドル 99,671

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

#### (2)投資信託証券

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 0.61 ( -)	千アメリカ・ドル 42 ( -)	千口 38.345 ( -)	千アメリカ・ドル 3,693 ( -)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年10月19日から2019年4月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	0.61	4,688	7,686	CROWN CASTLE INTL CORP (アメリカ)	16.098	218,498	13,573
				LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	22.247	192,698	8,661

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	期 首		当 期		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	206.84	295.33	3,366	377,212	情報技術		
SYNCHRONY FINANCIAL	505.26	353	1,173	131,464	金融		
VERISK ANALYTICS INC	581.81	243.47	3,334	373,550	資本財・サービス		
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	391.98	286.03	3,177	356,039	情報技術		
LULULEMON ATHLETICA INC	97.9	11.56	197	22,177	一般消費財・サービス		
WR BERKLEY CORP	500.96	553.24	3,204	359,017	金融		
TE CONNECTIVITY LTD	656.88	461.24	4,105	460,031	情報技術		
DUNKIN' BRANDS GROUP INC	614.2	429.08	3,267	366,132	一般消費財・サービス		
MSCI INC	120.08	68.24	1,494	167,438	金融		
MIDDLEBY CORP	196.26	137.11	1,850	207,338	資本財・サービス		
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	—	271.51	1,736	194,596	情報技術		
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	139.51	97.47	3,220	360,814	情報技術		
ARAMARK	663.95	492.38	1,539	172,504	一般消費財・サービス		
CBOE GLOBAL MARKETS INC	—	123.55	1,245	139,532	金融		
GARTNER INC	193.96	108.81	1,703	190,875	情報技術		
SMITH (A. O.) CORP	440.22	—	—	—	資本財・サービス		
GLOBAL PAYMENTS INC	387.37	315.01	4,367	489,312	情報技術		
CARTER'S INC	226.32	126.76	1,316	147,532	一般消費財・サービス		
SERVICEMASTER GLOBAL HOLDING	848.48	592.8	2,908	325,843	一般消費財・サービス		
TELEFLEX INC	85.39	56.29	1,563	175,169	ヘルスケア		
CATALENT INC	—	423.25	1,809	202,724	ヘルスケア		
CARLISLE COS INC	306.3	214	2,714	304,166	資本財・サービス		
AMETEK INC	185.5	78.3	671	75,226	資本財・サービス		
WEX INC	335.52	234.41	4,713	528,102	情報技術		
WORLD FUEL SERVICES CORP	425.65	—	—	—	エネルギー		
COSTAR GROUP INC	119.98	76.87	3,694	413,917	資本財・サービス		
SVB FINANCIAL GROUP	65.46	45.73	1,123	125,896	金融		
OLD DOMINION FREIGHT LINE	154.59	108	1,696	190,071	資本財・サービス		
DEXCOM INC	95.31	—	—	—	ヘルスケア		
ATHENAHEALTH INC	263.46	—	—	—	その他		
NATIONAL INSTRUMENTS CORP	1,005.9	702.76	3,271	366,521	情報技術		
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	816.9	570.69	4,236	474,627	金融		
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	335.92	234.7	1,904	213,364	ヘルスケア		
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	387.73	—	—	—	ヘルスケア		
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	597.33	479.41	3,097	347,040	情報技術		
REXNORD CORP	847.94	592.39	1,643	184,180	資本財・サービス		
AMDOCS LTD	794.67	555.19	3,013	337,640	情報技術		

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
EURONET WORLDWIDE INC	105.87	73.98	1,102	123,468	情報技術	
CIMPRESS NV	271.3	250.21	2,290	256,590	資本財・サービス	
SAGE THERAPEUTICS INC	—	34.51	557	62,432	ヘルスケア	
ICU MEDICAL INC	88.75	65.85	1,483	166,237	ヘルスケア	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	721.04	503.75	2,913	326,449	一般消費財・サービス	
IHS MARKIT LTD	471.85	329.66	1,800	201,702	資本財・サービス	
HARRIS CORP	154.85	163.78	2,721	304,902	資本財・サービス	
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	379.83	265.39	995	111,533	コミュニケーション・サービス	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	—	55.66	660	74,041	ヘルスケア	
KLA-TENCOR CORP	419.31	292.95	3,624	406,075	情報技術	
LAM RESEARCH CORP	184.31	128.78	2,527	283,217	情報技術	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	466.17	286.22	3,182	356,565	情報技術	
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	218.51	152.67	1,260	141,202	資本財・サービス	
NICE LTD - SPON ADR	271	286.59	3,749	420,089	情報技術	
HEICO CORP-CLASS A	262.6	183.47	1,554	174,150	資本財・サービス	
DBV TECHNOLOGIES SA-SPON ADR	145.32	—	—	—	ヘルスケア	
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	935.66	653.66	2,263	253,616	資本財・サービス	
GILDAN ACTIVEWEAR INC	1,214.22	848.28	3,147	352,603	一般消費財・サービス	
WAYFAIR INC- CLASS A	96.86	67.69	986	110,536	一般消費財・サービス	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	758.72	544.07	5,400	605,126	情報技術	
GODADDY INC - CLASS A	230.97	273.15	2,116	237,178	情報技術	
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	114.56	160.08	499	55,922	ヘルスケア	
FRONTDOOR INC	424.24	296.4	1,014	113,673	一般消費財・サービス	
ALKERMES PLC	295.01	206.12	683	76,578	ヘルスケア	
STERIS PLC	402.42	281.14	3,387	379,530	ヘルスケア	
LYFT INC-A	—	32.8	195	21,869	資本財・サービス	
PERKINELMER INC	629.04	439.45	4,112	460,799	ヘルスケア	
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	1,304.27	911.18	4,601	515,547	資本財・サービス	
ON SEMICONDUCTOR CORP	2,410.96	1,684.36	3,804	426,308	情報技術	
IQVIA HOLDINGS INC	366.11	177.94	2,354	263,778	ヘルスケア	
WABTEC CORP	155.98	314.96	2,427	271,930	資本財・サービス	
WATERS CORP	204.3	119.2	2,838	317,973	ヘルスケア	
WILLIAMS-SONOMA INC	259.87	181.58	1,046	117,223	一般消費財・サービス	
OMNICOM GROUP	309.21	216.04	1,810	202,838	コミュニケーション・サービス	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	202.72	141.64	3,561	399,050	資本財・サービス	
TD AMERITRADE HOLDING CORP	1,244.88	869.69	4,704	527,053	金融	
AON PLC	400.4	277.32	4,863	544,890	金融	
CELGENE CORP	243.72	168.8	1,591	178,343	ヘルスケア	
FLEX LTD	2,437.35	1,702.84	1,908	213,871	情報技術	
SEALED AIR CORP	1,016.64	684.17	3,121	349,697	素材	
COOPER COS INC/THE	201.6	140.85	3,933	440,742	ヘルスケア	
XILINX INC	627.66	124.29	1,688	189,135	情報技術	
INTUIT INC	83.36	57.74	1,479	165,785	情報技術	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	1,611.39	1,018.17	3,554	398,238	ヘルスケア	
VISTEON CORP	126.02	114.64	943	105,721	一般消費財・サービス	
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	280.69	124.5	1,639	183,652	ヘルスケア	
ファンド合計	株数、金額	36,345.07	25,244.8	184,469	20,667,942	
	銘柄数<比率>	77銘柄	77銘柄		<89.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
LAMAR ADVERTISING CO-A	71.796	50.159	4,030	451,552
CROWN CASTLE INTL CORP	52.364	36.266	4,503	504,532
合 計				
	口数、金額	86.425	8,533	956,084
	銘柄数 < 比率 >	2 銘柄		< 4.2% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	20,667,942	89.2
投資信託証券	956,084	4.1
コール・ローン等、その他	1,548,483	6.7
投資信託財産総額	23,172,510	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.04円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(22,944,443千円)の投資信託財産総額(23,172,510千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	23,172,510,889円
コール・ローン等	1,504,016,472
株式(評価額)	20,667,942,704
投資信託証券(評価額)	956,084,922
未収入金	41,825,174
未収配当金	2,641,617
(B) 負債	137,548,834
未払金	27,541,813
未払解約金	110,000,000
その他未払費用	7,021
(C) 純資産総額(A-B)	23,034,962,055
元本	18,671,915,254
次期繰越損益金	4,363,046,801
(D) 受益権総口数	18,671,915,254口
1万口当り基準価額(C/D)	12,337円

\* 期首における元本額は26,994,905,224円、当作成期間中における追加設定元本額は533,909,157円、同解約元本額は8,856,899,127円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり)4,470,063,425円、ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジなし)14,201,851,829円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,337円です。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自 2018年10月19日 至 2019年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	125,860,341円
受取配当金	118,779,914
受取利息	7,160,801
支払利息	△ 80,374
(B) 有価証券売買損益	2,406,317,237
売買益	3,458,481,224
売買損	△ 1,052,163,987
(C) その他費用	△ 3,320,360
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,528,857,218
(E) 前期繰越損益金	3,210,199,613
(F) 解約差損益金	△ 1,402,100,873
(G) 追加信託差損益金	26,090,843
(H) 合計 (D + E + F + G)	4,363,046,801
次期繰越損益金 (H)	4,363,046,801

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。